

< 目 次 >

- 1 【 実践事例 】 「一関市立磐清水小学校（一関市）」《家庭学習の充実》
  - 2 【 家庭学習 】 平成 22 年度岩手県学習定着度状況調査より（その 1）
  - 3 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
  - 4 【 みんなの声 】 ペっこ言い隊
  - 5 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
- 

1 【 実践事例 】 「一関市立磐清水小学校（一関市）」《家庭学習の充実》

磐清水小学校では、テレビを消してのサイレント学習や鉛筆の正しい持ち方練習を家庭の役割とし、その日の学習内容に関連ある宿題を出して、取組ませることを学校の役割として、家庭学習の習慣化に取り組んでいます。何に取り組むかを具体的に明らかにすることで、親自身がしっかりと子どもに向き合うことができるようになってきています。

事例は⇒[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei\\_iwasimizu.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_iwasimizu.pdf)

---

2 【 家庭学習 】 平成 22 年度岩手県学習定着度状況調査より（その 1）

私たちの体の細胞は、ひとつひとつが独立した 1 つの細胞です。しかし、それぞれの細胞は、人の体の各臓器（例えば心臓など）を構成し、その一部分としての役割を担って機能しています。この人の細胞のように、それ自体が独立した存在でありながら、より大きな全体の一部としても機能しているものの概念を、哲学者のアーサー・ケストラーは“ホロン”と名付けました。

私たちの体は、ウイルスが侵入して風邪をひいた時、そのウイルスを撃退するために体温を上げ、外に出すために咳や鼻水を出し、そのために体内のエネルギーを集中させようと食欲を無くし、消化にエネルギーを使わなくします。それぞれの細胞が、より大きな体という全体の秩序を維持するために、情報を交換し、一致団結するのです。

ウイルス（子どもの教育課題）を撃退するために、細胞（個人）によって構成されている各臓器（子ども・親・学校・地域・行政）が、それぞれの働き・役割を果たして全体の秩序を維持するために情報を交換し、今すべきことに一致団結して取組む……。それは、教育振興運動そのものだと思いますか。

このほど、平成 22 年度「岩手県学習定着度状況調査」の結果が公表されました。全県共通課題に関連する項目を見ると、昨年度、「県の目標値」を達成でき

たのは小4・小6の家庭学習時間と小3の読書時間だけでしたが、今年度は、全学年ともに昨年度より取組状況は向上しているものの、県の目標値自体も上がっており、達成できたのは小6の家庭学習時間だけでした。各小中学校・実践組織における達成度はいかがでしたでしょうか。

達成状況⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/22kadaijissi.pdf>

それぞれの「臓器」が役割を果たし、正常に機能していれば「健康体」でいることができます。日頃の取組を、「岩手県学習定着度状況調査」という健康診断で確認してください。達成できていなければ、処方箋が必要ですよね。

これから市町村において集約大会・集約会議が行われることと思います。今年度の「岩手県学習定着度状況調査」における児童生徒の実態も参考にしてください。

#### <家庭学習の推進>

22年度実態⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/22kateigakusyuuwate.pdf>

全国比較 ⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/22kateigakusyuuhihaku.pdf>

#### <読書活動の推進>

22年度実態⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/22dokusyojikaniwate.pdf>

全国比較 ⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/22dokusyojikanhihaku.pdf>

#### <TV視聴時間>

22年度実態⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/22tvhihaku.pdf>

集約大会では、活動の感想を発表しあうのではなく、子どもがどう変わり、ねらいは達成できたのか、自分たちは役割を果たせたのかを確認し合ひましょう。

---

### 3【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(教ちゃん) 教振メルマガ第32号で、「国際学習到達度調査 (PISA; 対象15歳)」の結果から、日本の生徒の読解力が低下してきていると紹介したのだけど・・・。

(振ちゃん) そうそう。それが、第4回(2009年)の調査結果では、第1回調査(2000年)の順位(8位)に戻ったんだよ。

(教ちゃん) 文部科学省は、「始業前の読書活動などの取組が進んだ」と分析していたわ。やっぱり、本を読むことで力をつけてきたのね。

(振ちゃん) うん。必要なことだから教育振興運動でも「読書活動の推進」を全県共通課題として提案しているんだよ。

(教ちゃん) 「家庭学習の充実」のほうは、どうかしら・・・。

(振ちゃん) 来年の1月28日(金)に、奥州市文化会館(Zホール)で教育振興運動「実践の3年」集約県大会を行うのだけど、「家庭学習の充実」の実践事例発表と秋田県東成瀬村教育委員会の鶴飼教育長を講師に迎えての講演が行われるんだ。

(教ちゃん) 教振メルマガ第5号では、秋田県の取組を紹介したけれど、実際に秋田県から来ていただいて、お話を聞くことができるのね。

(振ちゃん) たくさんの保護者の皆さん、地域連携窓口教員や研究主任の先生

方やP T Aの役員や研修部の皆さんにも来てほしいわ。参加の申し込みは、小中学校区・公民館区ごとの実践組織をとおして、市町村教育委員会が取りまとめることになっているの。わからないことは、市町村教育委員会に問い合わせてくださいね。

開催要項⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kyoushin-taikaiyoukou.pdf>

チラシ⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kyoushin-taikaitirasi2.pdf>

---

#### 4 【みんなの声】 ペっこ言い隊

すっかり寒くなりましたね。昨年のような新型インフルエンザの猛威も今のところはなさそうなので、寒いながらも冬という季節を楽しみたいと思います。

例年、子どもたちは公民館主催のスキー教室に行くのですが、来春は高校受験でもあり、「滑る」「転ぶ」は禁句なので、どうしようとみんなで思案中です。まあ、スキー以外にも楽しい過ごし方があるので、冬休みにどんな過ごし方をするか、それを事前に相談するのが一番楽しいんですけど。

面白そうな地域の取組などあれば、メルマガでも紹介してください。

(H町Cさん)

---

#### 5 【編集後記】 あつしのひとりごと

今から30年前、皆さんは何をしていましたか？30年前の12月8日、ジョン・レノンが凶弾に倒れました。子育てのためにやめていた音楽活動を再開し、「ダブル・ファンタジー」というアルバムを出したばかりの時でした。高校生だった私は、追悼ラジオ番組で朝までジョンの歌を聞いていたものです。

「そういう風に生きていきたい」と、あこがれの存在であったジョン・レノンや松田優作、ブルース・リー、そして坂本龍馬より、自分のほうが年上になってしまいました。“あこがれ”を追う歳ではなくなったのですね。

「今の子どもたちは、誰にあこがれているのだろうか。あこがれる生き方のモデルって、あるのだろうか。あこがれられる大人がいるのだろうか」。ジョンの「ハッピー・クリスマス（戦争は終わった）」を聞きながら、ふと思うのでした。

⇒ 第35号は、12月28日（火）配信です。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

★平成21年度配信のバックナンバー（第1～17号）はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成22年度配信のバックナンバー（第18～26号）はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index8.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★平成 22 年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index6.html>

～～～配信元～～～

\* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

～～～